

## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会



### 平成 21 年度担当者会の開催報告

11月18日、福岡県京都郡苅田町において、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会平成21年度担当者会を開催しました。当日は63名が参加し、平成21年度の活動報告や来年度の取り組みに向けた活動方針について議論が行われました。

#### 開会

担当者会は、協議会の幹事長である田尾和敏呉市産業部港湾振興課長から有意義な総会を開催することができたことの報告と、今回の担当者会で率直な意見により中身の濃い議論をしていただきたい旨の開会挨拶で始まりました。

次に開催町を代表して吉廣啓子苅田町長から「担当者会の活動を通して様々な情報交換することにより、



吉廣啓子苅田町長

各団体間に瀬戸内海を縁とした連帯感・一体感が生まれ、今後の施策に大いに役立っていくものと期待している。会員の皆様と連携を深め、瀬戸内の魅力を積極的に発信し、瀬戸内海地域の更なる振興と発展を目指していきたい」との挨拶をいただきました。

続いて、事務局長である杉村佳寿中国地方整備局港湾空港部沿岸域管理官から海ネットは政策集団としての意義が高まりつつある。一方で、瀬戸内海を1つとして取り上げていくことが、市民にも受け容れられ易い環境となってきている。地方の声を発信できるような役割を果たしていく必要があり、協議会はその媒体として、クルーズ等イベントの支援やHPの充実を図っていただきたい旨の挨拶を行いました。

#### 分科会と全体会

第1部分科会では、魅力検討、環境事業、情報発信の各実行委員会に分かれて議論が行われ、続いて第2部全体会では、各実行委員会で議論した内容が報告されました。

主な議論の内容は以下の通りです。

##### ○魅力検討委員会

クルーズ観光の推進として小型クルーズ船の社会実験に関する報告及び来年度も引き続きクルーズに重点を置いた活動を実施することが示され、特に寄港地の係留施設・観光情報を取りまとめたマリーナマップ（仮称）の作成や瀬戸内国際



芸術祭をバックアップすることにより瀬戸内海の魅力の PR 活動に積極的に取り組むことが示されました。

#### ○環境事業委員会



「リフレッシュ瀬戸内」と「海健康診断」を通して、海の清掃活動が定着化して美化効果が高まってきていること、また環境保全の啓発に寄与していることから、来年度も引き続き取り組むことが示されました。さらに学校等への参加の呼びかけ、行事などを行うことにより同活動をさらに盛り上げていく協力連携を図ってきくことが示されました。

#### ○情報発信委員会

今年度の活動として見易く、魅力ある HP に向けて、新規情報の掲載やサイト構造・デザインのシンプル化を図ること、情報収集強化の手法として、事務局が HP 掲載のサポートすることなどが報告されました。イベント情報の掲載には観光部局との連携が必要である等検討課題もみえてきており、来年度は、HP 掲載情報と PR の強化のため、事務局による新規掲載情報の試行的掲載や情報の定期的な周知に取り組んでいくことなどが示されました。



その後、事務局より先導的活動の支援について紹介があり、神戸市による「市内観光バスの運行」と北九州市・下関市による「客船入港 PR・歓迎イベント」について実施会員からの報告が行われました。続いて、事務局よりみなとまちづくりのための支援制度についての紹介と平成 19 年度総会で決議した「国土形成計画における瀬戸内の位置付けに関する提言」を受けて行った要望活動の成果として各地方ブロック広域地方計画への反映状況等が報告されました。



分科会、全体会を通して、担当者からは活発な意見や質問がなされ、大変有意義な担当者会となりました。

### 現地視察

翌 19 日は苅田町にある日産自動車(株)九州工場を訪れ、俵ゲストホール館長により日産生産方式の説明を受けながら、工場視察を行いました。その後、九州では唯一の 24 時間空港である北九州空港へ場所を移し、北九州港湾・空港整備事務所今林第二工務課長により、北九州空港の建設の変遷や利便性、経済性について説明を受けた後、空港施設の視察を行いました。



北九州空港 3F 展望室